

プログラム

会長挨拶

【第1会場】 08:45 ~ 09:00

第10回国際臨床医学会学術集会 大会長

中島 直樹（九州大学病院 国際医療部）

特別講演

【第1会場】 14:00 ~ 15:00

アジアの経験をアフリカへ ~ザンビア・スーダンでのデジタルヘルスの活用を目指して~

座長：中島 直樹（九州大学病院 国際医療部）

演者：川原 尚行（NPO ロシナンテス）

オーガナイズドセッション

【第1会場】 11:10 ~ 12:40

未収金に纏わる問題

座長：仲田 興平（九州大学病院 国際医療部）

座長：相良 理香子（九州大学病院 国際医療部 国際診療支援センター）

T-1-1 外国人医療の理想を現実にー高い患者満足度と未収金ゼロを実現する医療コンシェルジュー

五十嵐 ゆり（医療法人社団 広恵会 春山記念病院 国際診療科）

T-1-2 無公保外国人における高額医療費未収金の実態と課題

中村 友希子（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 事務部庶務課医事室）

T-1-3 訪日外国人患者救急搬送症例における課題と受入れ体制の構築

有田 奈未（九州大学病院 国際医療部 国際診療支援センター）

T-1-4 外国人旅行者から出生し、国際搬送を行った超低出生体重児の一例

宮内 雄太（九州大学病院 小児科）

T-1-5 渡航受診者受入れにおける未収金リスクと第三者機関連携の必要性

東山 辰巳（株式会社セントルシアヘルスケアジャパン）

4 学会対談

【第1会場】 15:10 ~ 16:10

激動する国際医療へ、グローバルヘルス関連4学会はどう対峙するべきか

座長：中島 直樹（第10回国際臨床医学会学術集会 大会長）

演者：小林 潤（日本国際医療保健学会 理事長）

演者：山城 哲（日本熱帯医学会 理事長）

演者：渡邊 浩（日本渡航医学会 理事長）

演者：澤 芳樹（国際臨床医学会 理事長）

【第1会場】百年講堂 メインホール

08:45 ~ 09:00 会長挨拶

第10回国際臨床医学会学術集会 大会長

中島 直樹（九州大学病院 国際医療部）

09:00 ~ 11:00 シンポジウム1（日本国際看護師（NiNA）シンポジウム）
危機的状況下における外国人患者・家族へのケア～理論と実践が融合した精神的支援～

座長：古賀 雄二（大分県立看護科学大学 成人看護学研究室）

座長：新垣 智子（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター）

第1部：基調講演

S-1-1 危機的状況下における外国人患者とその家族へのケア：理論と実践が融合した精神的支援

榊 由里（京都大学大学院 医学研究科）

第2部：パネルディスカッション

S-1-2 時間的制約のある周産期領域における外国人妊婦とその家族への支援

千葉 貴子（社会福祉法人 石井記念愛染園附属愛染橋病院 産婦人科）

S-1-3 クリティカルケア領域における外国人旅行患者・家族への精神的支援

丸林 美代子（国家公務員共済組合連合会 浜の町病院）

S-1-4 熊本地震発災直後の外国人被災者支援の体験から

中島 眞一郎（コムスタカー外国人と共に生きる会）

11:10 ~ 12:40 オーガナイズドセッション 未収金に纏わる問題

座長：仲田 興平（九州大学病院 国際医療部）

座長：相良 理香子（九州大学病院 国際医療部 国際診療支援センター）

T-1-1 外国人医療の理想を現実にー高い患者満足度と未収金ゼロを実現する医療コンシェルジュー

五十嵐 ゆり（医療法人社団 広恵会 春山記念病院 国際診療科）

T-1-2 無公保外国人における高額医療費未収金の実態と課題

中村 友希子（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 事務部庶務課医事室）

T-1-3 訪日外国人患者救急搬送症例における課題と受入れ体制の構築

有田 奈未（九州大学病院 国際医療部 国際診療支援センター）

T-1-4 外国人旅行者から出生し、国際搬送を行った超低出生体重児の一例

宮内 雄太（九州大学病院 小児科）

T-1-5 渡航受診者受入れにおける未収金リスクと第三者機関連携の必要性

東山 辰巳（株式会社セントルシアヘルスケアジャパン）

12:50-13:50 ランチョンセミナー 1**富士通が挑むドラッグ・ロス解消：
国際共同治験を加速するエコシステム構築への挑戦**

座長：中島 直樹（九州大学病院 国際医療部）

演者：荒木 達樹（富士通株式会社）

共催：富士通Japan株式会社

14:00 ~ 15:00 特別講演**アジアの経験をアフリカへ
～ザンビア・スーダンでのデジタルヘルスの活用を目指して～**

座長：中島 直樹（九州大学病院 国際医療部）

演者：川原 尚行（NPO ロシナンテス）

15:10 ~ 16:10 4学会対談**激動する国際医療へ、グローバルヘルス関連4学会は
どう対峙するべきか**

座長：中島 直樹（第10回国際臨床医学会学術集会 大会長）

演者：小林 潤（日本国際医療保健学会 理事長）

演者：山城 哲（日本熱帯医学会 理事長）

演者：渡邊 浩（日本渡航医学会 理事長）

演者：澤 芳樹（国際臨床医学会 理事長）

16:20 ~ 17:50 シンポジウム 4**外国人精神科診療の現状と医療通訳の必要性：
精神科専門医療通訳士研修の確立を目指して**

座長：南谷 かおり（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 健康管理センター）

座長：林 偉明（千葉県精神保健福祉センター）

S-4-1 医療通訳者と精神科臨床をつなぐ：PEECコースを参考としたワークショップのご提案

花岡 晋平（千葉県総合救急災害医療センター精神科 / 東邦大学医学部社会医学講座）

S-4-2 精神科救急医療機関における外国人入院患者の現状と医療通訳体制の課題

中西 健太（医療法人 生生会 松蔭病院）

S-4-3 心のケアをつなぐことば～精神科での中国語医療通訳の現場から～

祁 潔（九州大学病院 国際医療部 国際診療支援センター）

S-4-4 現場で見る言葉の壁と制度の狭間：多文化間ソーシャルワークから考える通訳の必要性

石川 美絵子（社会福祉法人 日本国際社会事業団）

オーガナイザー：連 利博（霧島市立医師会医療センター）

17:50 ~ 18:00 閉会挨拶

【第2会場】百年講堂 中ホール1+2

9:00 ~ 11:00 シンポジウム2 外国人医療と皆保険制度～みんなのモヤモヤを越えて～

第1部：話題提供

ファシリテーター：小笠原 理恵（大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 国際医療センター）

S-2-1 グスマン里佳（大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 国際医療センター）

S-2-2 日野原 千速（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 国際診療部）

S-2-3 相良 理香子（九州大学病院 国際医療部 国際診療支援センター）

S-2-4 指定発言：五十川 伸（警固法律事務所）

第2部：パネルディスカッション

ファシリテーター：日野原 千速（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 国際診療部）

パネリスト：五十川 伸（警固法律事務所）

小笠原 理恵（大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 国際医療センター）

佐伯 壮一郎（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 救命救急センター救急科）

相良 理香子（九州大学病院 国際医療部 国際診療支援センター）

グスマン里佳（大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 国際医療センター）

11:10 ~ 12:40 シンポジウム3

グローバルヘルス温故知新：
グローバルヘルス大阪宣言2020と
Heckler Reportを踏まえた外国人診療の現在地

座 長：佐伯 壮一郎（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 救命救急センター救急科）

指定発言：中村 安秀（WHO協会、大阪大学）

S-3-1 歴史的知見に学ぶ日本のマイノリティ・ヘルス～Heckler Reportを起点として～

小笠原 理恵（大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 国際医療センター）

S-3-2 外国人患者をみんなで迎えるためにー現場の試みと今後の展望ー

（東京都立多摩総合医療センター 救急・総合診療科
城戸 初音 千葉大学大学院 医学薬学府 先進予防医学共同専攻 博士課程
倉敷中央病院 多文化共生支援ラボ）

S-3-3 在留外国人当事者と取り組む外国人の医療アクセスと社会的支援の向上

弓野 綾（東京大学大学院医学系研究科 医学教育国際協力学部門
横浜市寿町健康福祉交流センター診療所）

S-3-4 多文化共生の時代における医療の平等ーベトナム人患者と医療者の経験からー

Pham Nguyen Quy（京都民医連中央病院 腫瘍内科 / 京都大学医学部附属病院 腫瘍内科）

12:50-13:50 ランチョンセミナー 2
**エビデンス構築と地域連携で拓く
国際医療の未来：日本の挑戦**

座長：南谷 かおり（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 健康管理センター）

演者：堀 信一（医療法人 龍志会 IGTクリニック）

共催：ロート製薬株式会社

15:10-16:10 スイーツセミナー 1
第 1 部：訪日外国人患者への医療提供における保険制度の課題と今後の展望

陳 根栄（上海威爾比医療諮詢有限公司（上海ウエルビーメディカルコンサルティング有限公司））

第 2 部：未収医療問題の現状と医療機関の負担軽減策

柴田 寧子（東京海上日動火災保険株式会社 福岡支店企業第二チーム）

共催：九州国際医療機構（KIMO）

16:20 ~ 17:50 シンポジウム 5
**国際医療に携わる最前線からの提言
～国立国際医療センター 国際診療部10年の軌跡と未来～**

座 長：日野原 千速（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 国際診療部）

指定発言：佐伯 壮一郎（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 救命救急センター救急科）

S-5-1 外国人対応の10年を振り返り、共生社会に向けた未来への展望を探る

小山内 泰代（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター）

S-5-2 新宿駅直結の診療所における外国人診療ニーズの変化：2016年開業以来の経験

濱木 珠恵（医療法人社団 鉄医会 ナビタスクリニック新宿）

S-5-3 国際医療これまでの10年とこれからの10年～遠隔医療通訳サービス提供の視点から～

友久 甲子（メディフォン株式会社）

【第3会場】同窓会館 小講堂

09:00 ~ 09:30 一般演題1 受け入れ体制・整備①

座長：森山 智彦（九州大学病院 国際医療部）

O-1-1 外国籍患者へめぐる倫理コンサルテーション：その課題と展望

室岡 明美（九州大学病院 医療連携センター 患者相談支援室）

O-1-2 開業医としての医療インバウンド参入についてそのチャンスと問題点を考える

城山 隆季（医療法人 弘照会 城山国際医院）

O-1-3 外国人患者への文化・社会的背景を考慮した周産期支援

若松 栄理（九州大学病院 総合周産期母子医療センター 母性胎児部門）

09:30 ~ 10:20 一般演題3 医療現場の現状・課題分析①

座長：石井 健（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 国際部）

座長：岡田 怜子（一般財団法人 住友病院 内分泌代謝内科）

O-3-1 若手医師における外国人診療の経験と課題—アンケート調査—

岡田 怜子（一般財団法人 住友病院 内分泌代謝内科）

O-3-2 国際検診受診者における肥満症と食生活習慣との関連

関根 里恵（東京大学医学部附属病院 国際検診センター）

O-3-3 看護師が外国人診療で求める支援に関するアンケート調査

高畑 華子（国立国際医療センター 看護部）

O-3-4 外国人診療についてのインシデント報告（2023年～2025年）

石井 健（国家公務員共済組合連合会 虎ノ門病院 国際部）

O-3-5 渡航患者受診問い合わせと受け入れ件数の推移と今後の課題

藤田 美里（東京大学医学部附属病院 国際診療部）

10:20 ~ 11:00 一般演題5 日本の医療制度の隙間

座長：渋谷 健司（一般社団法人 Medical Excellence JAPAN）

座長：吉田 峰子（大阪公立大学医学部附属病院）

O-5-1 外国人患者による公的医療保険制度の“逆用”とその課題

趙 詩培（東京医科大学大学院 医学研究科）

O-5-2 日本の医療制度の弱点とメディカルツーリズムにおける外国人の医療利用の方法について

山田 秀臣（東京大学医学部附属病院）

O-5-3 来日ビザと医療制度の隙間で揺れる外国人患者受入れ

祁 潔（九州大学病院 国際医療部 国際診療支援センター）

O-5-4 東大病院における渡航患者外来受診にかかる新料金規定の構築について

五十嵐 千恵（東京大学医学部附属病院）

11:10 ~ 12:00 一般演題 7 国際医療搬送

座長：南谷 かおり（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 国際医療広報センター）

座長：横井 みどり（東京科学大学病院 国際医療部）

O-7-1 国際医療搬送の一例（日本からモンゴルへ）

林 愛巳（医療法人社団 インターナショナルヘルスケアクリニック）

O-7-2 重症外国人患者の国際搬送における課題と対策の検討

岡村 有加里（九州大学病院 医療連携センター）

O-7-3 渡航中に外傷性血気胸を発症し飛行許可を考えさせられた一例

鈴木 大喜（医療法人社団 広恵会 春山記念病院）

O-7-4 国際医療搬送が必要となった小脳出血外国人患者への支援と課題

松田 香央里（国立国際医療センター病院）

O-7-5 Science Tokyo方式 海外への医療搬送ABCサイクル

横井 みどり（東京科学大学病院 国際医療部）

12:00 ~ 12:40 一般演題 9 医療現場の現状・課題分析②

座長：浅香 朋美（成田赤十字病院 国際診療科）

座長：池村 小葉（地方独立行政法人 那覇市立病院）

O-9-1 外国人コーディネーターが直面する課題の抽出—外国人患者対応事例から—

池村 小葉（地方独立行政法人 那覇市立病院）

O-9-2 専門病院の強みを活かしたインバウンド医療の実践

北村 果納子（稲波脊椎・関節病院）

O-9-3 那覇NICE救急クリニックを受診された訪日外国人の分析

岡本 昌子（医療法人 愛厚会 那覇NICE救急クリニック）

O-9-4 越境医療における中国とモンゴル医療ニーズの比較分析—受入設計への実務的示唆—

王 珂露（スカイメディカルグループ 海外プロジェクト）

15:10 ~ 16:00 一般演題10 医療現場の現状・課題分析③

座長：日野原 千速（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 国際診療部）

座長：黒田 羽衣子（北海道大学病院 国際医療部）

O-10-1 国立大学病院の国際化における現状～国際医療を担う部門へのアンケートから～

黒田 羽衣子（北海道大学病院 国際医療部）

O-10-2 診療所における外国人旅行者の診療と課題

李 雲柱（イークリニック）

O-10-3 リハビリテーションスタッフの神経筋疾患を持つ外国人患者への対応状況に関する調査

山崎 摩弥（国際医療福祉大学大学院 医療福祉経営専攻 医療通訳・国際医療マネジメント分野 / 国立病院機構まつもと医療センター リハビリテーション科）

O-10-4 当院人間ドックにおける外国人受検者受け入れの現状と課題

谷口 寛（NTT東日本関東病院 予防医学センター）

O-10-5 課題と展望：2016年度から開始10年目となった当院外国人診療

石井 健（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 国際部）

16:20 ~ 17:10 一般演題12 医療通訳②

座長：成島 三長（三重大学 形成外科）

座長：相良 理香子（九州大学病院 国際医療部 国際診療支援センター）

O-12-1 災害時を見据えた平時からの医療通訳ボランティア養成：和歌山の事例より

益田 充（日本赤十字社和歌山医療センター 救急科 / 消化器外科 / 精神科
J-MIND（日本災害医療通訳ネットワーク））

O-12-2 外国人診療の増加から現場で起きている医療通訳の実態

中牟田 和彦（株式会社東和エンジニアリング 東和通訳センター）

O-12-3 能登半島被災地支援を経た、J-MINDによる災害医療通訳研修の変遷

益田 充（日本赤十字社和歌山医療センター 救急科 / 消化器外科 / 精神科
J-MIND（日本災害医療通訳ネットワーク））

O-12-4 大学病院施設利用、現役医療従事者による実践的医療通訳実習

横井 みどり（東京科学大学病院 国際医療部）

O-12-5 公的病院における多言語医療通訳の困難と展望 — ボランティア通訳の語りから —

Phan Thi My Loan（大阪大学 外国語学部）

17:10 ~ 17:50 一般演題13 海外医療スタッフ教育②

座長：田村 純人（東京大学医学部附属病院 国際診療部）

座長：仲田 興平（九州大学病院 国際医療部）

O-13-1 ザンビアにおけるマイクロサージャリートレーニングセンター設立の経緯と今後

成島 三長（三重大学医学部 形成外科）

O-13-2 モンゴルにおける食道胃静脈瘤治療導入の試み — 内視鏡技術協力事業の実践 —

白井 保之（小倉記念病院 消化器内科）

O-13-3 モンゴル国における消化器疾患診療の人材育成支援と展望

永吉 絹子（九州大学病院 国際医療部）

O-13-4 タンザニアにおける文化的適合性を配慮した産後ケアアプリの開発

戸田 美幸（広島大学大学院 医系科学研究科）

【第4会場】百年講堂 中ホール3

09:00 ~ 09:40 一般演題2 多文化共生

座長：飯塚 陽子（東京大学医学部附属病院 国際検診センター）

座長：高 知恵（大阪公立大学大学院 看護学研究科）

O-2-1 本邦ICUでの外国人患者家族支援と看護の役割 ―心臓手術を受けた乳児の母親との経験―

池田 健太（九州大学病院 集中治療部）

O-2-2 医療現場における宗教や異文化への認識向上と患者との相互理解促進に向けた取り組み

有田 奈未（九州大学病院 国際医療部 国際診療支援センター）

O-2-3 外国人患者受入れ10年の実践：多文化共生医療の進化

呉 荻（医療社団法人 佳有会 品川イーストクリニック）

O-2-4 外国人妊産婦への多文化ケアを支える病棟体制とマネジメントの工夫

中根 祥子（社会福祉法人 石井記念愛染園 附属 愛染橋病院）

09:40 ~ 10:20 一般演題4 受け入れ体制・整備②

座長：有田 奈未（九州大学病院 国際医療部 国際診療支援センター）

座長：堀江 徹（雁の巣病院）

O-4-1 外国人患者のPFMと今後の課題

有江 優（九州大学病院 医療連携センター）

O-4-2 ICUにおける外国人患者への英語対応コミュニケーションツールの作成と体制整備

鈴木 このみ（九州大学病院 集中治療部）

O-4-3 海外に向けて日本の人間ドックの優位性向上にむけての検討

野村 英雄（NTT東日本関東病院）

O-4-4 医療渡航受診希望者受入れにおける支援体制とリスク管理

有田 奈未（九州大学病院 国際医療部 国際診療支援センター）

10:20 ~ 11:00 一般演題6 海外医療スタッフ教育①

座長：大橋 一友（大手前大学 国際看護学部）

座長：益田 充（日本赤十字社和歌山医療センター 救急科 / 消化器外科 / 精神科
J-MIND（日本災害医療通訳ネットワーク））

O-6-1 当院における外国籍患者の対応

林 愛巳（医療法人社団 インターナショナルヘルスケアクリニック）

O-6-2 神奈川がんセンター消化器内科における国際交流プログラムの現状

塩月 一生（神奈川県立がんセンター 消化器内科）

O-6-3 国際医療研修問合せと受入れ件数の推移と今後の課題

藤田 美里（東京大学医学部附属病院）

O-6-4 中国からの看護師研修受け入れの実際と今後の課題 ～糖尿病看護の研修を担当して～

梶野 美保（九州大学病院 医療連携センター）

11:10 ~ 12:10 一般演題 8 医療通訳①

座長：山田 秀臣（東京大学医学部附属病院 国際診療部）

座長：中牟田 和彦（株式会社 東和エンジニアリング 東和通訳センター）

O-8-1 臓器の生理機能の理解を目指した初学者医療通訳向けの通年オンライン講義の取り組み

井上 博睦（NTT東日本関東病院 予防医学センター）

O-8-2 自由診療クリニックで働く職員への外国語教育の取り組みについて

尾中 寿江（藤田医科大学 東京先端医療研究センター 羽田クリニック）

O-8-3 術後コミュニケーションの難渋事例からの看護実践課題とNiNAの役割

伏谷 恵（大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 入退院支援センター）

O-8-4 医療現場における対面と遠隔通訳利用形態に関する医療従事者の意識調査

張 岩（りんくう総合医療センター 国際センター）

O-8-5 院内通訳の質の向上を目的とした取り組み～院内通訳ラダーの作成とその運用～

岡内 真由美（東京都立広尾病院 患者・地域サポートセンター）

O-8-6 医療通訳研修から研修医 / 医学生が学べること～これからのコミュニケーション教育～

益田 充（日本赤十字社和歌山医療センター 救急科 / 消化器外科 / 精神科
J-MIND（日本災害医療通訳ネットワーク））

15:10 ~ 16:10 一般演題 11 その他

座長：山崎 慶太（浜甲子園しまなみクリニック）

座長：赤津 祐衣（J-MIND（日本災害医療通訳ネットワーク））

O-11-1 能登半島地震 / 洪水における外国人被災支援：救護班活動からJ-MINDへ

益田 充（日本赤十字社和歌山医療センター 救急科 / 消化器外科 / 精神科
J-MIND（日本災害医療通訳ネットワーク））

O-11-2 慢性疾患をもつ在留外国人患者の退院調整に医療コーディネーターが介入した一例

荒井 歩（東京都立広尾病院 患者・地域サポートセンター）

O-11-3 AIはあなたの英語学習の壁をどう壊すか？多忙な医療者のための自律的学習アプローチ

鶴 敦子（福岡赤十字病院 診療支援課）

O-11-4 医療通訳サービスアプリの利用実態と課題の分析

並河 知己（琉球大学病院 地域・国際医療部 国際医療支援室）

O-11-5 中絶可能期間を過ぎて経口中絶薬を内服して受診した外国人妊婦

浅香 朋美（成田赤十字病院 国際診療科）

O-11-6 台湾の医療インバウンドに取り組む医療機関に対する価格設定と優遇措置に関する状況

呉 素蜜（国際医療福祉大学大学院）